

【様式 2】

平成 1 3 年 度 授 業 実 践 結 果

学校名：岐阜県立飛騨神岡高等学校

授業者等	授業日	平成14年1月21日	学 年	3 学 年
	授業者	筑 間 敏 博	教 科	国 語（国語表現）
	校 種	高 等 学 校	単 元	小説を書く
	ねらい	自分で独自の小説を書き、お互いに読み比べる活動を通じて、多面的な表現に触れる。		
授業の流れ	1 .	小説の題材を選定する。 図書館でいろいろな小説を読み、自分の気に入ったジャンルを探す。 私小説、三人称小説、推理小説などにグループ分けする		
	2 .	小説の執筆と校正 ノートに小説のおおまかな流れを書く。ある程度の目処がついたらワープロソフト「WORD」を用いて、原稿を執筆し、校正する。 （編集しやすいよう、字数、行数などの書式は指定する） 原稿は各自のフロッピーディスクに保存する。		
	3 .	「文集」の編集 各自で作成したフロッピーディスクをまとめ、文集に編集する。 画像編集ソフトで作成した絵入りの表紙、目次などを付ける プリンタで1部印刷、印刷機で増刷し、製本する。		
	4 .	作品の批評会を行う 各自の作品を読み比べ、題材、構成、ストーリーの面白さなどを批評し合う。		
考察	1 .	小説を読むだけでなく、自分で書いてみるという活動を通じて、主体的に学習に取り組むことができた。		
	2 .	パソコン操作は集中して取り組むことができた。		
	3 .	編集・校正がやりやすく、美しい文集に仕上げることができた。 反面、簡単に変更できるので、はじめから構成をしっかり練って取り組むということがおろそかになりがちで、ストーリーの大幅な修正がたびたび見られた。		

IT 活用が分かるように記述願います。